

要介護者自らが考案したアイデア介護用品「入浴用腰ベルト」の本格発売！

アイデアハウス株式会社（神奈川県）

生活に密着した様々なアイデア商品の開発を手掛けており、段ボール製簡易トイレも開発している。

1. 相談のきっかけ

アイデアハウス(株)は、高齢者や障害のある方、また入院などで足腰の筋肉が弱った方を、安全に入浴させることができる福祉用具「入浴用介助ベルト」を開発した。

平成26年5月よりモニターによる使用・試験販売等を重ねて好評価を得たので9月から本格的に販売したいと言うことで販路開拓の相談に来訪されたのがキッカケ。その後、製品特性を整理した。

2. 課題整理・分析

整理した結果、当製品の特徴は、
①ベルト内側に装着した着脱式タオル生地が綿100%でクッション性を高め、肌ずれ・かぶれを軽減し、滑り止め効果が高い。

②取り外しや洗濯が簡単に行えるので、衛生的に使用できる。

③タオルホルダーは軽量で柔らかい樹脂を採用し、腰部への負担が軽減できる。

④TAISコード01498-000001を取得した。(介護保険適用について市町村に問合せ必要)。

しかしながら、今一つインパクトが足りないという印象であった。

3. 解決策の提案

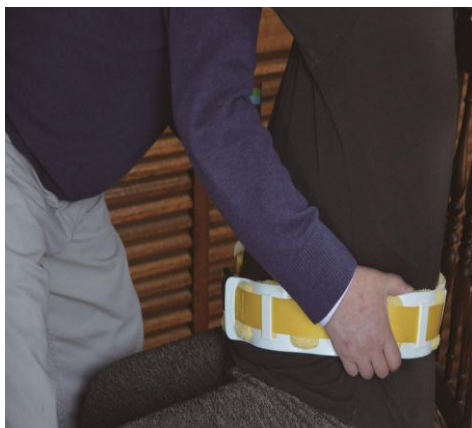
そこで、開発者が代表の父親(80歳)であり、自らこの新製品開発を手掛けたという経緯に注目。

父親は4年前に病気を患い入院し、車いすでのトイレ移動・入浴サービスの際に転倒の危険を実感して様々な介助ベルトを試したが、体にピッタリフィットするものがなく、最終的に安心して使い易い介助ベルトを自ら開発したことに注目し、リリース作りを支援。

4. 成果

神奈川県内各種メディアにも大きな関心を持たれ、大きなスペースで新製品のパブリシティが紹介された。読者の関心も非常に高かったようで、この掲載日以降も多数の問合せがあった模様。

特に、要介護者である代表の父親(80歳)自らが開発したものであることが関心を呼び、使い勝手の良さに関する問合せが非常に多いということであった。



「入浴用介助ベルト」